

SAJ

サバール通信

公益財団法人 School Aid Japan コミュニケーション誌
サバールは「幸福」を意味するクメール語です



Vol.17

2020.1 月号

SDGsを意識して

SAJ は今年も活動します！



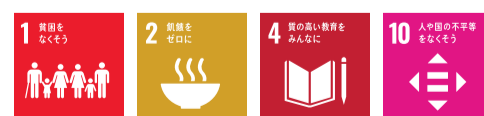
謹んで、新年のお慶びを申し上げます

旧年中は公益財団法人 School Aid Japan に格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年も、学校建設事業・食の支援事業・孤児院運営事業・就学支援事業・就労支援事業・学校運営事業はもちろんですが 自ら収益を生み出すことができるようレモンガラス商品の開発にも力を入れて参ります。引き続き、皆様の温かいご支援をお願い申し上げます。

SAJ の事業は SDGs の 1,2,4,10 などの実現に向けて活動しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



持続可能な開発目標 (SDGs) では、2030 年までに、「貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会など、持続可能な開発のための諸目標を達成すべく力を尽くします」とされています。

皆様からの会費・寄附は「1円残らず現地に届ける」ことを基本方針として活動しています。

会費

会員会費(年額)1口 12,000円
法人会費(年額)1口 120,000円

一般寄附

用途は指定しないで
金額も自由な寄附

指定寄附 (使い道を指定する寄附)

- 学校建設寄附(1) 一口寄附(一口100,000円)、(2) 一棟寄附
- ふれあいサポートプラン(一口12,000円から)
- 食の支援寄附(金額自由)
- 孤児院運営寄附(金額自由)
- 孤児院運営会費(12,000円/月)
- 孤児院里親会費(12,000円/月)
- 奨学金寄附(金額自由)
- 学校運営寄附(バングラデシュ)(金額自由)

詳細はSAJ事務局までお問い合わせください。

支援活動のご報告 (指定寄附別) 支援者様から頂いた寄附が、どのような活動に繋がっているのかご紹介いたします!

お米支援・ふれあいサポートプラン

コンポンチュナン州・・・14校
(お米支援406人・ふれあいサポート支援440人)
ポーサット州・・・14校
(お米支援579人・ふれあいサポート支援608人)
の子どもたちにお米、文房具、制服の配布をしました。



孤児院運営支援

新職員メル・リーホー

新しい職員が保育士として子どもたちと生活を始めました。24歳という若さですが、落ち着いたしっかりした人で、責任感もあると判断し、比較的小さい男の子を集めた部屋を担当してもらうことになりました。(副園長 柚木)



学校建設寄附

balan 小学校

2019年下期予定の1校(2020年2月開校予定)に関し、理事評議員会で承認をいただきました。



現在の balan 小学校:
倒壊の恐れがある校舎

学校運営支援【NDMSC】

JSC(中学卒業試験)決起集会

今年もJSC(中学校卒業試験)の時期になりました。中学3年間で勉強した成果を存分に発揮する場です。この卒業試験で赤点を取ると留年になり、再度中学3年生で勉強することになってしまいます。ただ、本校では開校以来全員がこの卒業試験で合格しています。今年も先生方が早朝や放課後に特別講習を実施して多くのサポートをしました。決起集会ということで、多くの先生から熱いメッセージを生徒に伝えました。(校長 古澤)



インターネットでの寄附が、便利になりました。

SAJのホームページから寄附していただくことができます。寄附の種類も選べます。

<https://ssl.schoolaidjapan.or.jp/kifu/>

こちらから



会費・寄附金のお振込み

●郵便局:00140-5-345903

●三井住友銀行:浦田支店(普)4353626 口座名:公益財団法人 School Aid Japan

※郵便局払込用紙をご希望の方はSAJ事務局までご連絡ください。

※領収書をお送りいたしますので、初めてお振込みされる際は送付先のご住所をEメールまたは電話にてご連絡ください。

寄附金の優遇税制

SAJは内閣総理大臣の認定を受けた公益財団法人です。そのため、会費や寄附金は、税制上の優遇処置を受けることができます。詳しくはお問い合わせください。

理事評議員会の報告

SAJは、すべての理事で構成され業務に関する決定を行う理事会と最高議決機関である評議員会が毎月開催されています。

《構成メンバー》

- 代表理事：渡邊美樹
- 理事：鳥井親一、清水和雄、武長彩子、高橋亮(新任)
- 業務執行理事：青木茂雄
- 評議員：大江光正、清水邦晃、佐藤誠、戸澤昌夫(新任)、大城慶正、白柳直美
- 監事：片山進平、小田剛志

第198回理事評議員会が11月25日に行われました。

議案1：SAJ新体制に関する検討と承認

資料に基づき説明がされ、承認をいただきました。

議案2：孤児院卒園後のルールと奨学金制度の一部改訂の検討と承認

一部改訂された資料に基づき説明がされる。『奨学金貸与対象者に対し、就労せずに大学等へ進学するもののうち、自らの貯金と親族や金融機関からの融資等を得る努力しながらも生活費の一部が不足するもので、理事会で承認されたもの』に関して承認をいただきました。

議案3：SAJカンボジア教育支援ツアー(1月)実施の検討と承認

ツアー日程、金額詳細の説明がされ、承認をいただきました。

議案4：2019年度下期学校建設の検討と承認

バラン小学校(小学校3教室)の建設に関し資料に基づき説明がされ、承認をいただきました。

SAJ Farm



SAJファームは、孤児院の子どもや、将来的には農業を志すカンボジアの若者に技術を習得させるための実習場(農場)として、2010年にスタートさせた就労支援事業です。



収穫した稲

1,350kgのお米を収穫！

現在、カンボジアは雨季が終わり、朝晩は気温が20℃前後になる涼しい乾季になってきました。その時期に、お米の収穫が始まります。SAJファームでも、今年の9月に孤児院の子どもたちが田植えをしてくれたお米を収穫しました。今年は1,350kgほどの収穫量でした。こちらは、全量孤児院に出荷させていただき、子どもたちに美味しく食べてもらいます。また、SAJ



稲の脱穀

ファームではお米に関する機械を所有していないので、近隣の村の方々にご協力をいただきながら、脱穀、乾燥、精米の作業を進めています。SAJファームが開設され10年が経とうとしており、近隣の村の方々から信頼される農場を目指して、これからもSAJファーム12名スタッフ一同頑張っていきたいと思っております！(農場長 酒井)



乾燥

2019年8月

孤児院「夢追う子どもたちの家」

卒園生 進路状況

(10名中)
5名が大学へ進学
2名は小学校教師へ

※進学基準・奨学金支援基準を満たしていない子もいるため
継続して進路確認中



リア・マップ
プノンペン大学
日本語学科



ミア・ピサイ
プノンペン大学
日本語学科



フン・パエット
NTTI 専門学校
電気学科



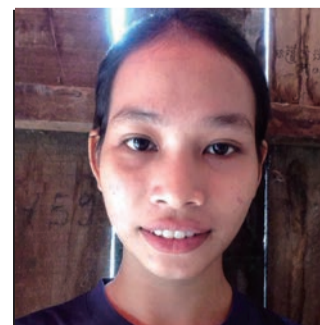
ノン・ヴァンナ
プレックリープ農業大学
獣医学科



プット・ソッパリン
バタンバン大学
英文科



ダエ・パンヤー
小学校教師



アン・サオリ
小学校教師



代表理事メッセージ

オークンチュラーン

代表理事 渡邊美樹

あけましておめでとうございます。
SAJの活動もいよいよ20年目となりました。
今から20年前、カンボジアで最初に建設した記念すべき校目「トモケオ小学校」は今でも心に強く焼き付いています。
首都プノンペンから凸凹道を揺られること4時間半。とても貧しい村であると同時に、軍隊も同行するほど危険な地域でした。穴だらけの木の壁と穴だらけのヤシの葉の屋根という粗末な校舎を訪れると、校舎の外までガタン、ガタン、ガタン、ガタン・・・という音が聞こえてきます。授業中にも関わらず「何の音だろう?」と教室を覗くと、それは机の脚が床を叩く音でした。なぜ、机の脚が床を叩くのでしょうか。それは、生徒たちが先生の授業に集中して前のめりになるために机が一瞬浮いて、音を立ててしまうのです。

机の脚が床を叩くほど、生徒が前のめりになる授業を私はそれまで見たことがありませんでした。生徒が前のめりになる一番の理由は、生徒たちの「学びたい」という意欲がとても強いからです。以前は村に学校がなく、子どもたちは親の畑仕事を手伝うしかなく、学ぶ機会がなかったので、学校ができて学ぶことの喜びに満ち溢れているのです。
「この子どもたちのために綺麗な校舎をプレゼントしたい」
そんな思いから活動をスタートしたSAJですが、皆様からの温かいご支援により、この20年間でカンボジア、ネパール、バングラデシュで308校の学校を建設することができました。また、就学支援事業、食の支援事業、孤児院運営事業、就労支援事業、学校運営事業と、活動の幅はどんどん広がっています。

2020年は、既存事業に加えて、DVD事業のさらなる拡大と、SAJが活動資金の一部を自ら生み出し、持続可能な組織となるために、SAJファームで生産したレモンガラスオイルを活用した商品の開発・販売に力を入れていく所存です。
皆様からの変わらぬご支援を、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。



支援者様メッセージ

広瀬 健太郎様

渡邊先生の著書に出会ったのがきっかけで、約10年前からSAJの里親制度に参加させて頂いております。
10年の間に、家計がピンチのときに、タイミング良く里子のヴィサール君からお手紙が届くんですね、そりゃ頑張りますよ、こりゃ頑張らねばとギリギリのところまで踏ん張ってこられました。

今回ヴィサール君に会えたこと、会えるまでに過ごした時間が、私をもう一段踏ん張れる人間に育ててくれました。
SAJの皆様いつもありがとうございます。これからも楽しんで踏ん張りますのでよろしくお願いいたします！



広瀬様(右) 里子のヴィサール(中央)

ご支援いただいた寄附

2019年

12月の寄附金合計 4,227,624円

(内訳) 会員会費	2,032,117円
一般寄附	1,889,337円
指定寄附	306,170円

募金箱回収ありがとうございました

募金箱回収して下さった方(順不同、敬称略) ※法人名、団体名は2019年4月現在のものです。

- SFPホールディングス株式会社 「きづなすし」歌舞伎町店
- 株式会社 彩美
- 株式会社 郷家
- 株式会社 和屋
- ワタミ株式会社 SDGs イベント 「わたみん家」西小山店
- 「坐・和民」奈良三条通り店

募金箱の回収は、郵便局や銀行での振込みまたは、SAJ事務局へのご持参にて承ります。

今後の予定

- 1月22日～25日 SAJカンボジア教育支援ツアー
- 1月27日 理事評議委員会

これまでの実績

<p>いただいた寄附金の累計額 (2001年度～2018年度)</p> <p>28億 9,196万2,003円</p>	<p>現在、SAJの建設した学校で授業を受けている児童・生徒の人数 (2019年3月現在)</p> <p>93,226人</p>	<p>SAJの建設した学校でお米を受け取った児童数の累計 (2006年度～2018年度)</p> <p>9,515人</p>
<p>建設した学校の合計 (2001年度～2018年度)</p> <p>288校</p>	<p>ふれあいサポートプランで文房具や制服を受け取った児童数の累計 (2003年度～2018年度)</p> <p>13,427人</p>	<p>SAJの建設した学校で朝給食を支給された児童数の累計 (2006年度～2018年度)</p> <p>108,385人</p>

編集後記

2019年3月までに学校建設は308校を迎えます。バングラデシュのNDMSCでは第一期生として入学した子どもたちが卒業を迎えます。皆さまへ様々な活動報告ができるよう邁進してまいります。本年もどうぞよろしくお願い致します。

公益財団法人 School Aid Japan
本部 〒144-0043 東京都大田区羽田1-1-3
TEL: 03-5737-2773
FAX: 03-5737-2793
Eメール: sajinfo@schoolaidjapan.or.jp
http://www.schoolaidjapan.or.jp